国土交通省
観光庁
Japan Tourism Agency　Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

Press Release

観光統計

平成２８年４月２８日
観　光　庁

宿泊旅行統計調査

（平成28年2月・第2次速報、平成28年3月・第1次速報）

1. 延べ宿泊者数

○平成28年2月の延べ宿泊者数（全体）は、3,680万人泊（前年同月比+2.4%）と、2月としては平成19年の調査開始以来、最高となった。また、平成28年3月の延べ宿泊者数（全体）は4,229万人泊で、前年同月比−1.2%であった。

○日本人延べ宿泊者数は、平成28年2月は暖冬によるスキー客の減少などにより前年同月比−1.3%と2ヶ月連続で減少した。平成28年3月は前年同月比−4.0%であった。

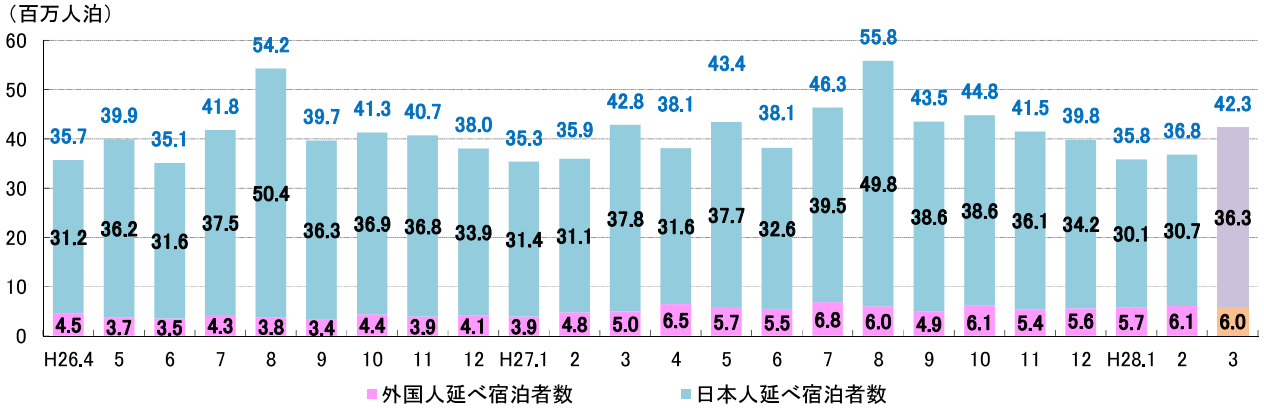
○外国人延べ宿泊者数は、訪日外国人旅行者数の増加を受け、2月は前年同月比が+26.6%となった。また、3月は+20.0%であった。

（万人泊）

	全　体	日本人	外国人
H28.2	3,680	3,069	610
（前年同月比）	+2.4%	−1.3%	+26.6%
H28.3（※）	4,229	3,632	597
（前年同月比）	−1.2%	−4.0%	+20.0%

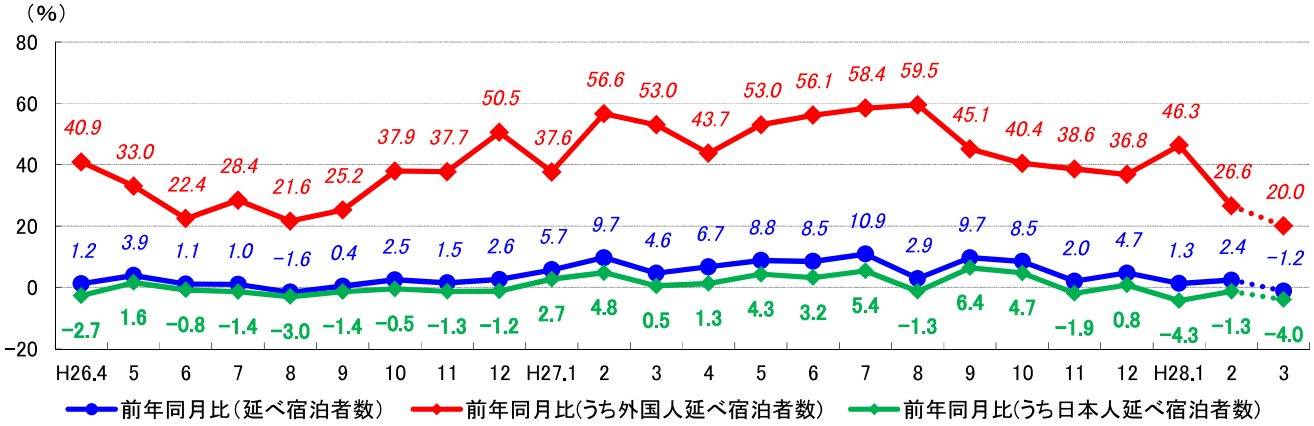
※平成28年3月の数値は第1次速報値であり、5月31日公表予定の第2次速報値で変更となる点にご留意いただきたい。

ー延べ宿泊者数推移ー



※上表の青字にした数値は、日本人及び外国人の延べ宿泊者数を合計した全体の数値である。

ー延べ宿泊者数前年同月比の推移ー



2. 客室稼働率

○平成28年2月の客室稼働率は全体で58.8%と、現在の集計方法となった平成23年以降、2月としては過去最高の稼働率であった。また、リゾートホテル（57.5%）、旅館（36.9%）も2月としては過去最高となった。
平成28年3月の客室稼働率は全体で61.3%であった。

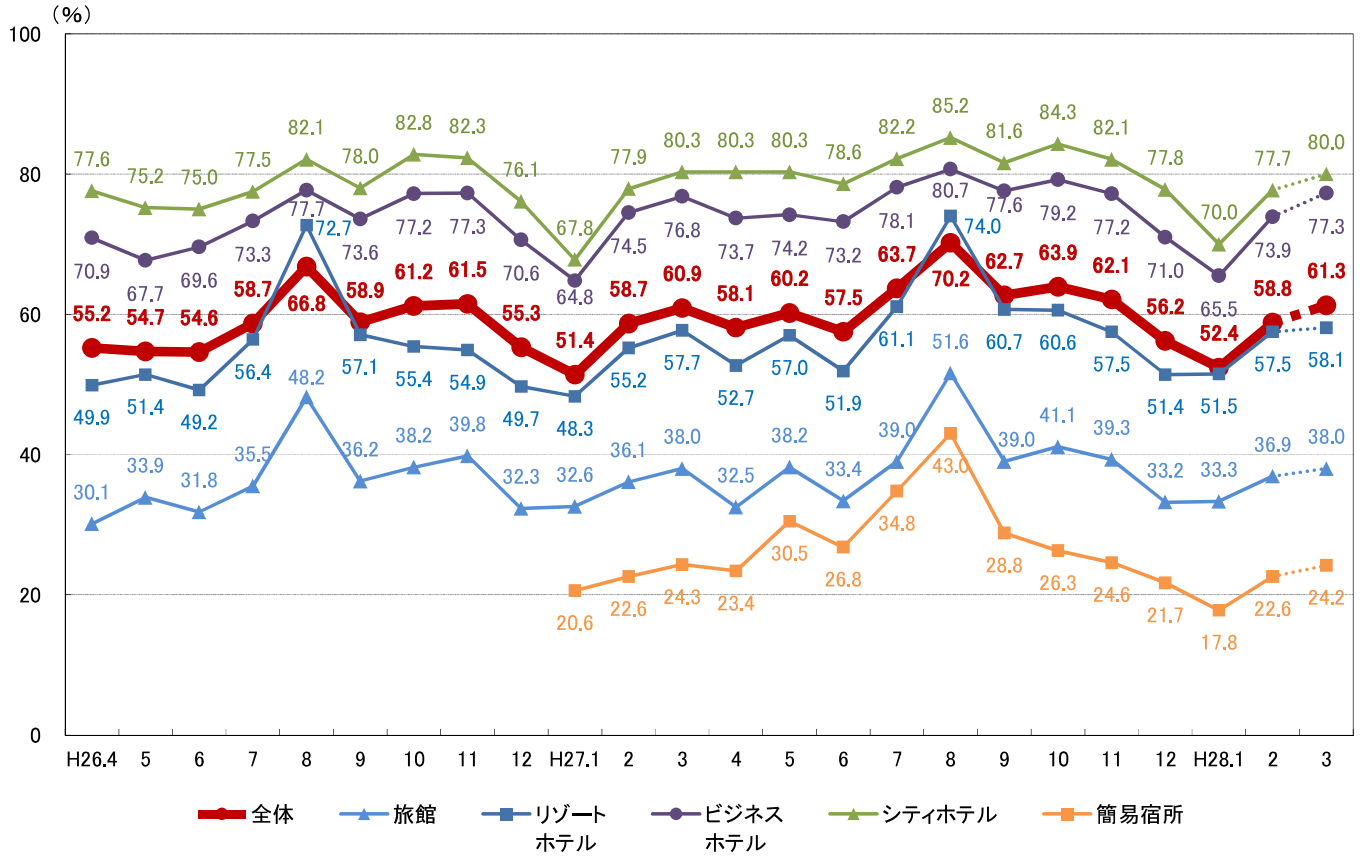
○平成28年2月に客室稼働率が80%を超えた都道府県は、シティホテル10箇所（平成27年2月：9箇所）、ビジネスホテル5箇所（平成27年2月：4箇所）、リゾートホテル2箇所（同：3箇所）であった。特に大阪府では引き続き高い客室稼働率が続いており、リゾートホテル90.7%、ビジネスホテル87.7%、シティホテル87.6%となった。

（%）

	全体	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	簡易宿所
H28.2	58.8	36.9	57.5	73.9	77.7	22.6
H28.3（※）	61.3	38.0	58.1	77.3	80.0	24.2

※平成28年3月の数値は第1次速報値であり、5月31日公表予定の第2次速報値で変更となる点にご留意いただきたい。

ー施設タイプ別客室稼働率の推移ー



ー都道府県別宿泊施設タイプ別客室稼働率（平成28年2月（第2次速報））ー

（左、単位：%、右：宿泊施設タイプ別の都道府県順位）

	全体		旅館		リゾートホテル		ビジネスホテル		シティホテル		簡易宿所	
全国	58.8	－	36.9	－	57.5	－	73.9	－	77.7	－	22.6	－
北海道	66.0	7	51.0	3	63.5	8	72.5	15	80.8	6	55.2	2
青森県	45.0	35	31.8	32	24.7	44	59.3	45	51.8	46	18.0	14
岩手県	50.5	26	37.0	19	46.2	28	68.4	27	58.1	39	23.5	9
宮城県	59.8	14	44.3	10	39.7	35	72.0	16	65.2	28	36.1	6
秋田県	34.8	46	22.7	44	6.9	47	53.6	47	57.4	40	14.0	22
山形県	45.4	34	36.0	23	30.4	42	66.0	30	64.3	31	3.6	45
福島県	49.1	30	34.3	24	47.1	25	78.0	9	71.1	21	6.9	39
茨城県	50.4	27	24.0	41	49.7	22	61.7	41	67.1	24	2.8	47
栃木県	40.1	42	31.8	32	32.9	40	66.6	29	55.3	42	4.1	44
群馬県	48.4	32	37.6	18	49.2	24	70.2	19	61.8	33	14.0	22
埼玉県	64.5	10	23.5	42	20.2	45	74.4	14	80.2	8	16.2	18
千葉県	65.2	8	33.4	27	81.2	2	62.7	39	81.7	5	14.2	21
東京都	79.4	2	65.7	1	74.8	5	84.3	2	79.9	11	54.7	3
神奈川県	66.2	6	47.2	4	64.7	7	80.9	5	80.6	7	36.6	5
新潟県	38.9	43	25.5	40	50.0	21	56.5	46	58.4	38	12.0	25
富山県	43.3	37	31.1	34	44.7	30	61.6	42	60.8	35	7.0	37
石川県	64.8	9	57.0	2	40.4	34	77.2	10	80.2	8	10.6	30
福井県	41.1	41	25.8	39	43.1	32	70.2	19	52.4	45	10.4	31
山梨県	37.5	44	26.9	37	47.0	26	64.8	34	52.6	44	9.9	33
長野県	33.7	47	28.1	35	39.3	36	61.4	44	55.6	41	11.6	28
岐阜県	49.1	30	41.5	14	53.7	15	69.2	25	71.7	20	18.3	13
静岡県	54.5	21	47.1	5	55.6	13	71.0	18	76.6	12	7.2	35
愛知県	68.6	4	32.4	30	50.4	20	76.7	11	80.1	10	38.4	4
三重県	52.3	24	34.2	25	45.7	29	68.4	27	72.3	18	3.0	46
滋賀県	49.6	29	39.7	16	50.5	19	61.6	42	65.2	28	16.4	17
京都府	64.4	11	41.7	13	51.6	17	82.5	3	75.0	16	31.2	7
大阪府	85.0	1	39.5	17	90.7	1	87.7	1	87.6	1	57.2	1
兵庫県	57.9	17	44.9	9	50.9	18	79.6	6	76.2	14	19.4	12
奈良県	36.7	45	20.0	46	79.1	4	63.6	36	70.4	22	6.9	39
和歌山県	42.5	39	32.8	29	53.4	16	64.7	35	59.3	36	17.2	16
鳥取県	43.3	37	36.5	21	18.2	46	62.9	37	68.8	23	11.5	29
島根県	47.0	33	32.4	30	30.5	41	65.7	31	54.2	43	4.5	42
岡山県	51.7	25	27.5	36	39.1	37	69.3	24	65.3	27	11.9	26
広島県	61.3	13	36.8	20	46.4	27	76.1	12	73.9	17	20.3	11
山口県	58.8	16	40.6	15	35.7	39	69.9	22	65.7	25	15.5	19
徳島県	44.8	36	22.0	45	36.2	38	62.2	40	51.7	47	4.2	43
香川県	54.4	22	33.6	26	55.5	14	65.0	33	64.9	30	17.5	15
愛媛県	49.9	28	45.5	7	29.7	43	62.8	38	62.9	32	6.9	39
高知県	41.7	40	23.1	43	42.1	33	65.6	32	65.4	26	7.0	37
福岡県	72.7	3	26.2	38	67.1	6	78.2	8	86.7	2	22.5	10
佐賀県	55.7	20	43.8	11	61.7	11	68.8	26	58.8	37	7.1	36
長崎県	59.1	15	36.3	22	62.9	10	76.1	12	84.5	4	15.3	20
熊本県	55.9	19	45.1	8	49.4	23	70.1	21	76.6	12	9.2	34
大分県	56.3	18	42.8	12	63.3	9	69.8	23	61.7	34	13.6	24
宮崎県	62.5	12	46.0	6	58.0	12	79.5	7	76.0	15	11.8	27
鹿児島県	53.1	23	32.9	28	44.2	31	71.9	17	72.2	19	10.3	32
沖縄県	68.4	5	4.7	47	79.9	3	81.7	4	85.3	3	30.3	8

※宿泊施設タイプ別に見たとき、客室稼働率が最も大きかった都道府県を朱書きにしている。
また、客室稼働率が80%を超えている都道府県は青色、90%を超えている都道府県は黄色で示している。

注1）平成28年2月（第2次速報）は、平成28年2月分の宿泊旅行統計調査について、4月11日までに回収された有効な調査票（有効回収率：55.9%）を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、平成28年3月30日公表の「宿泊旅行統計調査（平成28年2月・第1次速報）」と異なっている点にご留意いただきたい。

注2）平成28年3月（第1次速報）は、平成28年3月分の宿泊旅行統計調査について、4月14日までに回収された有効な調査票（有効回収率：46.0%）を基に推計を行ったものである。したがって、当資料の数値は、5月31日公表予定の「宿泊旅行統計調査（平成28年3月・第2次速報）」で変更となる点にご留意いただきたい。

注3）前年同月比は、速報値との比較である。

※参考：平成28年2月・第1次速報公表時の有効回収率： 44.3%

問い合わせ先
観光庁観光戦略課調査室　佐藤、青柳
TEL　03-5253-8111(内線　27-214、27-217)
03-5253-8325(直通)
FAX　03-5253-1563

＜参考＞延べ宿泊者数･客室稼働率推移表

○延べ宿泊者数推移表

（単位：人泊、%）

	延べ宿泊者数	前年（同月）比	うち日本人延べ宿泊者数	前年（同月）比	うち外国人延べ宿泊者数	前年（同月）比
平成19年 1)	309,381,780	—	286,727,440	—	22,654,340	—
平成20年 1)	309,698,710	+0.1%	287,450,410	+0.3%	22,248,300	-1.8%
平成21年 1)	301,303,940	-2.7%	283,006,170	-1.5%	18,297,770	-17.8%
平成22年 1)	413,048,930	+15.8%	385,539,960	+14.1%	27,508,970	+42.2%
平成23年 1)	417,234,450	-2.7%	398,818,760	-0.1%	18,415,690	-34.6%
平成24年 1)	439,495,120	+5.3%	413,180,780	+3.6%	26,314,340	+42.9%
平成25年 1)	465,893,370	+6.0%	432,397,640	+4.7%	33,495,730	+27.3%
平成26年 1)	473,501,950	+1.6%	428,677,350	-0.9%	44,824,600	+33.8%
平成27年 2)	505,453,000	+6.7%	439,080,340	+2.4%	66,372,660	+48.1%
平成27年 1月 2)	35,346,220	+5.7%	31,418,270	+2.7%	3,927,950	+37.6%
2月 2)	35,925,240	+9.7%	31,102,740	+4.8%	4,822,500	+56.6%
3月 2)	42,793,090	+4.6%	37,819,660	+0.5%	4,973,430	+53.0%
4月 2)	38,094,770	+6.7%	31,603,880	+1.3%	6,490,890	+43.7%
5月 2)	43,412,270	+8.8%	37,737,440	+4.3%	5,674,830	+53.0%
6月 2)	38,134,140	+8.5%	32,643,450	+3.2%	5,490,690	+56.1%
7月 2)	46,322,910	+10.9%	39,502,570	+5.4%	6,820,340	+58.4%
8月 2)	55,826,830	+2.9%	49,792,720	-1.3%	6,034,110	+59.5%
9月 2)	43,506,270	+9.7%	38,578,020	+6.4%	4,928,250	+45.1%
10月 2)	44,774,960	+8.5%	38,633,340	+4.7%	6,141,620	+40.4%
11月 2)	41,482,050	+2.0%	36,054,440	-1.9%	5,427,610	+38.6%
12月 2)	39,834,240	+4.7%	34,193,800	+0.8%	5,640,440	+36.8%
平成28年 1月 2)	35,807,130	+1.3%	30,062,420	-4.3%	5,744,710	+46.3%
2月 2)	36,796,710	+2.4%	30,692,870	-1.3%	6,103,840	+26.6%
3月 3)	42,290,150	-1.2%	36,320,400	-4.0%	5,969,750	+20.0%
4月						
5月						
6月						
7月						
8月						
9月						
10月						
11月						
12月						

※　平成22年4月～6月期調査より、調査対象を従業者数9人以下の宿泊施設に拡充している。
　この点を踏まえ、平成20年～平成23年における前年比は、従業者数10人以上の宿泊施設の実績をもとに算出している。

※　1)平成19年～平成26年の数値は確定値、2)平成27年及び平成27年1月～12月、平成28年1月～2月の数値は第2次速報値、3)平成28年3月の数値は第1次速報値である。

○宿泊施設タイプ別客室稼働率推移表

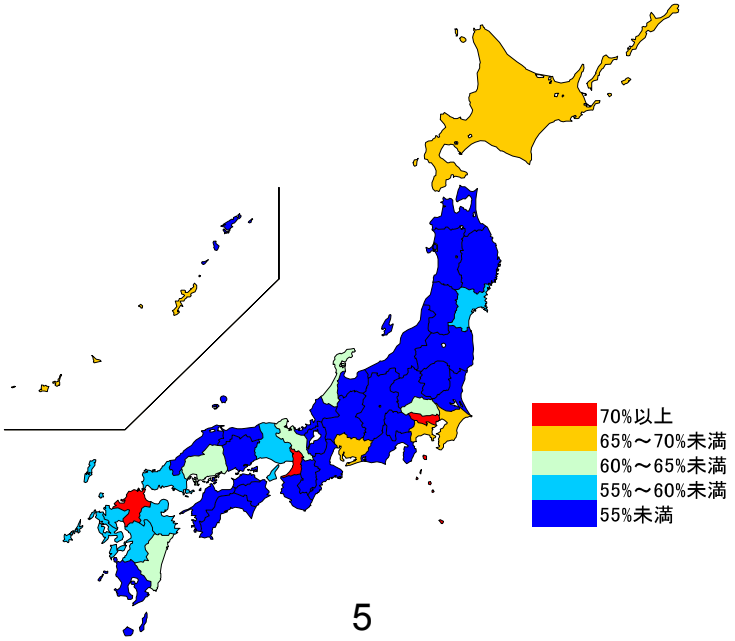
（単位：%）

		全体	旅館	リゾートホテル	ビジネスホテル	シティホテル	簡易宿所
平成19年	1)						－
平成20年	1)						－
平成21年	1)	59.7	49.4	53.3	67.2	71.1	－
平成22年	1)	64.0	52.9	52.6	68.3	75.7	－
平成23年	1)	51.8	34.7	46.8	62.3	67.1	－
平成24年	1)	54.8	35.5	48.0	67.3	72.5	－
平成25年	1)	55.2	33.4	52.3	69.5	75.7	－
平成26年	1)	57.4	35.2	54.0	72.1	77.3	－
平成27年	2)	60.5	37.8	57.3	75.1	79.9	27.3
平成27年	2) 1月	51.4	32.6	48.3	64.8	67.8	20.6
	2) 2月	58.7	36.1	55.2	74.5	77.9	22.6
	2) 3月	60.9	38.0	57.7	76.8	80.3	24.3
	2) 4月	58.1	32.5	52.7	73.7	80.3	23.4
	2) 5月	60.2	38.2	57.0	74.2	80.3	30.5
	2) 6月	57.5	33.4	51.9	73.2	78.6	26.8
	2) 7月	63.7	39.0	61.1	78.1	82.2	34.8
	2) 8月	70.2	51.6	74.0	80.7	85.2	43.0
	2) 9月	62.7	39.0	60.7	77.6	81.6	28.8
	2) 10月	63.9	41.1	60.6	79.2	84.3	26.3
	2) 11月	62.1	39.3	57.5	77.2	82.1	24.6
	2) 12月	56.2	33.2	51.4	71.0	77.8	21.7
平成28年	2) 1月	52.4	33.3	51.5	65.5	70.0	17.8
	2) 2月	58.8	36.9	57.5	73.9	77.7	22.6
	3) 3月	61.3	38.0	58.1	77.3	80.0	24.2
	4月						
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						

※　平成22年4月～6月期調査より、調査対象を従業者数9人以下の宿泊施設に拡充している。

※　1)平成19年～平成26年の数値は確定値、2)平成27年及び平成27年1月～12月、平成28年1月～2月の数値は第2次速報値、3)平成28年3月の数値は第1次速報値である。

－都道府県別客室稼働率（平成28年2月（第2次速報））－



～調査結果概要～

○平成28年2月の延べ宿泊者数は、3,680万人泊（前年同月比+2.4%）で、うち外国人延べ宿泊者数は610万人泊（前年同月比+26.6% ）。延べ宿泊者全体に占める外国人宿泊者の割合は16.6 %。
○都道府県別延べ宿泊者数上位4都道府県は、前年同月と同一である。

1. 都道府県別延べ宿泊者数

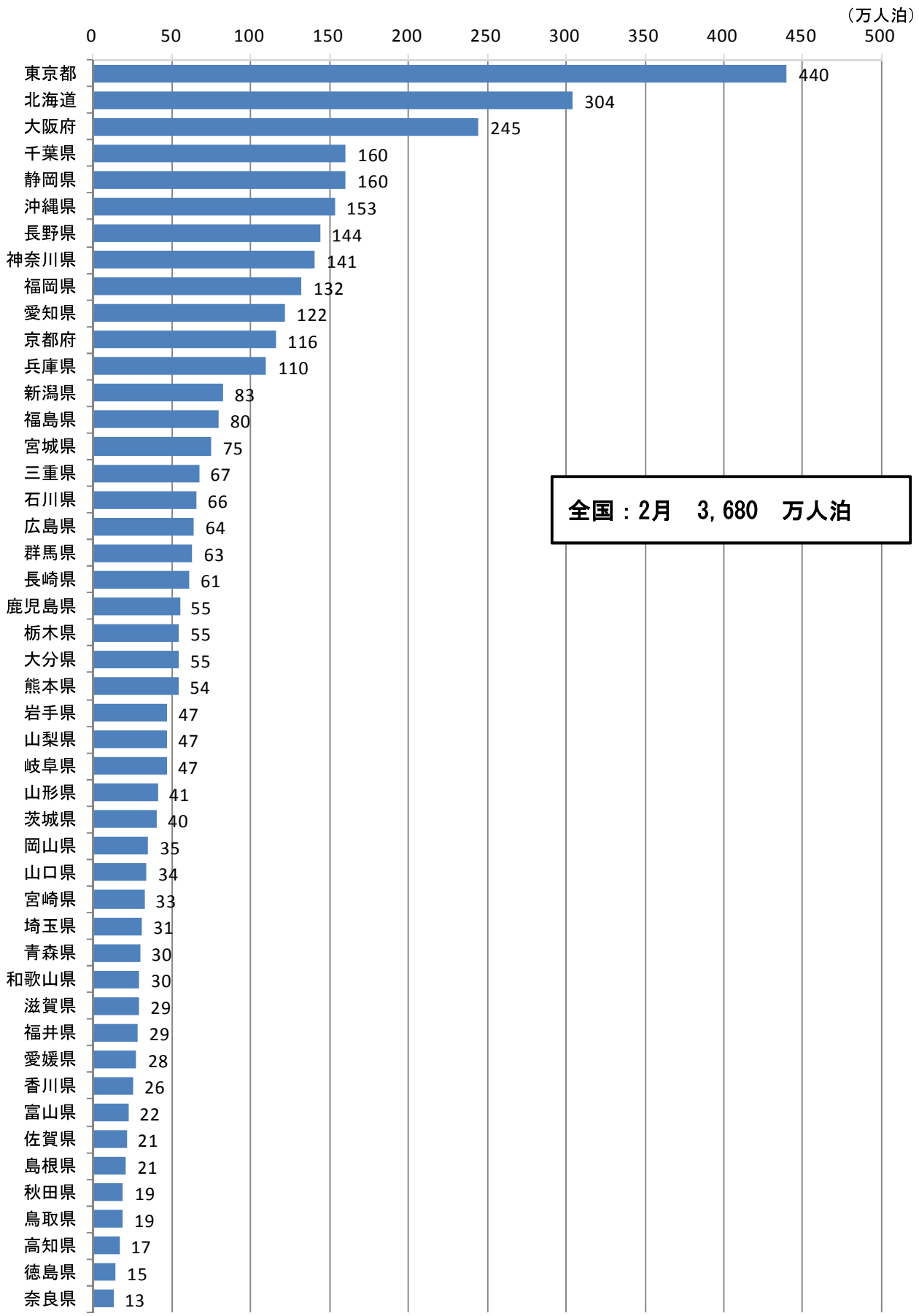
①都道府県別延べ宿泊者数（平成28年2月（第2次速報））と前年同月比

（単位：人泊）

施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	36,796,710	+2.4%
北海道	3,041,320	+19.2%
青森県	299,650	+5.7%
岩手県	469,860	+9.5%
宮城県	752,780	+2.2%
秋田県	193,090	-3.8%
山形県	411,680	-6.6%
福島県	799,000	-0.6%
茨城県	403,750	+0.6%
栃木県	549,220	-7.4%
群馬県	632,680	-0.8%
埼玉県	311,510	-2.2%
千葉県	1,603,160	-3.5%
東京都	4,399,950	-1.3%
神奈川県	1,407,110	-3.7%
新潟県	827,910	-6.5%
富山県	224,210	-0.2%
石川県	655,360	+17.7%
福井県	286,860	+3.0%
山梨県	469,620	-5.8%
長野県	1,438,260	-1.3%
岐阜県	467,280	-1.7%
静岡県	1,602,630	+1.9%
愛知県	1,217,940	+0.6%
三重県	672,750	+11.3%
滋賀県	294,930	-4.5%
京都府	1,157,840	+1.5%
大阪府	2,446,180	+12.3%
兵庫県	1,098,420	+4.7%
奈良県	129,440	+7.7%
和歌山県	297,020	-6.3%
鳥取県	191,080	-8.4%
島根県	210,110	+11.7%
岡山県	352,840	-6.4%
広島県	642,230	+3.8%
山口県	343,200	+22.6%
徳島県	145,250	+5.1%
香川県	256,020	-1.3%
愛媛県	278,060	+7.2%
高知県	168,600	-19.2%
福岡県	1,323,050	+11.3%
佐賀県	213,280	-6.1%
長崎県	611,330	+8.1%
熊本県	542,790	+13.8%
大分県	547,280	+5.1%
宮崎県	327,460	-7.3%
鹿児島県	549,590	-8.4%
沖縄県	1,533,160	-4.1%

※ 前年同月比は、確定値との比較である。

②都道府県別延べ宿泊者数 （平成28年2月（第2次速報））



2. 外国人延べ宿泊者数

(1)都道府県別外国人延べ宿泊者数

○外国人延べ宿泊者数は、610万人泊で、2月としては、調査開始以来の最高値。調査を開始した平成19年における同時期と比較すると約3.2倍(※1)となっている。

○三大都市圏と地方部(※2)で外国人延べ宿泊者数の対前年同月比を比較すると、三大都市圏で+17.0%、地方部で+39.9%と、地方部の伸びが三大都市圏の伸びを上回っている。

○都道府県別外国人延べ宿泊者数上位5都道府県は、前年同月と同一である。

※1)平成19年2月:175万人泊、平成28年2月:558万人泊。なお、平成19年は従業者数10名以上の施設のみ調査対象としていたため、平成28年2月との比較においては、従業者数10名以上の施設で行っている。

※2)三大都市圏とは、「東京、神奈川、千葉、埼玉、愛知、大阪、京都、兵庫」の8都府県をいう。地方部とは、三大都市圏以外の道県をいう。

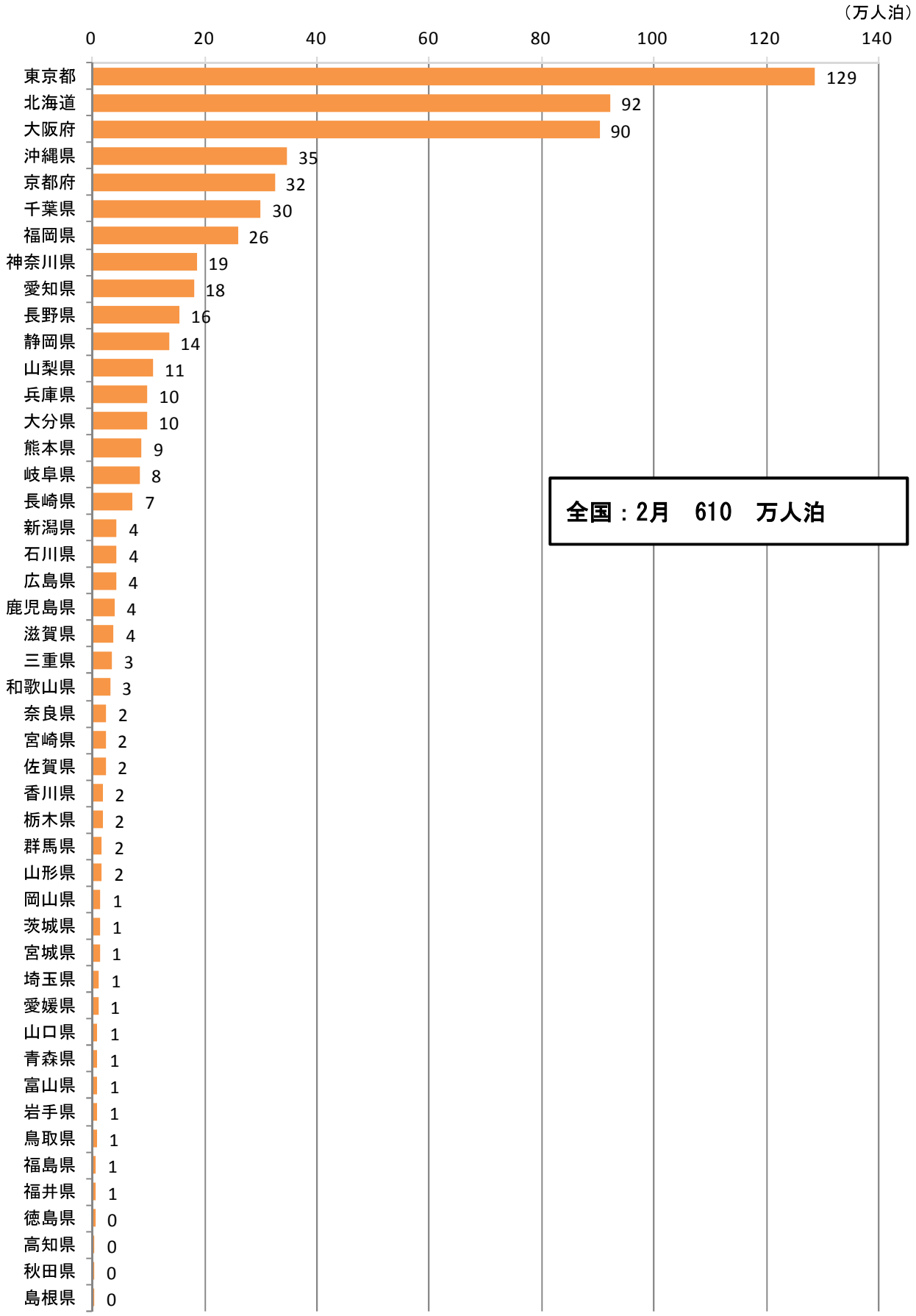
①都道府県別外国人延べ宿泊者数(平成28年2月(第2次速報))と前年同月比

(単位:人泊)

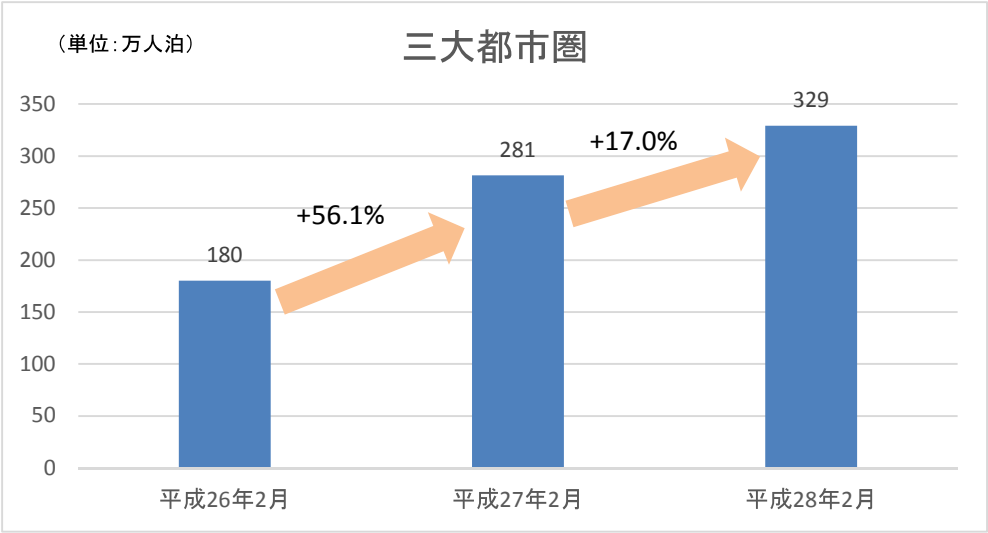
施設所在地	延べ宿泊者数	前年同月比
全国	6,103,840	+26.6%
北海道	922,250	+41.1%
青森県	9,590	+36.8%
岩手県	9,260	+12.4%
宮城県	12,900	+46.8%
秋田県	3,800	+0.8%
山形県	17,110	+43.1%
福島県	5,780	+80.6%
茨城県	13,670	+35.9%
栃木県	17,880	+48.4%
群馬県	17,500	+61.0%
埼玉県	12,130	+46.9%
千葉県	300,390	+11.6%
東京都	1,286,550	+5.3%
神奈川県	186,390	+18.3%
新潟県	43,680	+7.3%
富山県	9,500	+18.8%
石川県	43,660	+54.1%
福井県	5,640	+49.6%
山梨県	108,900	+10.6%
長野県	155,510	+41.4%
岐阜県	83,920	+49.7%
静岡県	136,750	+19.0%
愛知県	181,190	+18.5%
三重県	34,740	+116.7%
滋賀県	37,890	+92.4%
京都府	324,230	+19.3%
大阪府	902,880	+41.1%
兵庫県	98,850	+8.1%
奈良県	24,340	+35.7%
和歌山県	31,290	+29.3%
鳥取県	7,750	−21.5%
島根県	3,590	+91.0%
岡山県	14,380	+31.9%
広島県	42,460	+19.9%
山口県	9,770	+23.7%
徳島県	4,750	+74.0%
香川県	18,500	+56.9%
愛媛県	10,410	+43.2%
高知県	4,550	−26.5%
福岡県	258,610	+64.3%
佐賀県	23,200	+84.0%
長崎県	72,490	+37.3%
熊本県	87,500	+58.3%
大分県	98,370	+112.9%
宮崎県	23,540	+39.4%
鹿児島県	39,140	+17.2%
沖縄県	346,680	+27.0%

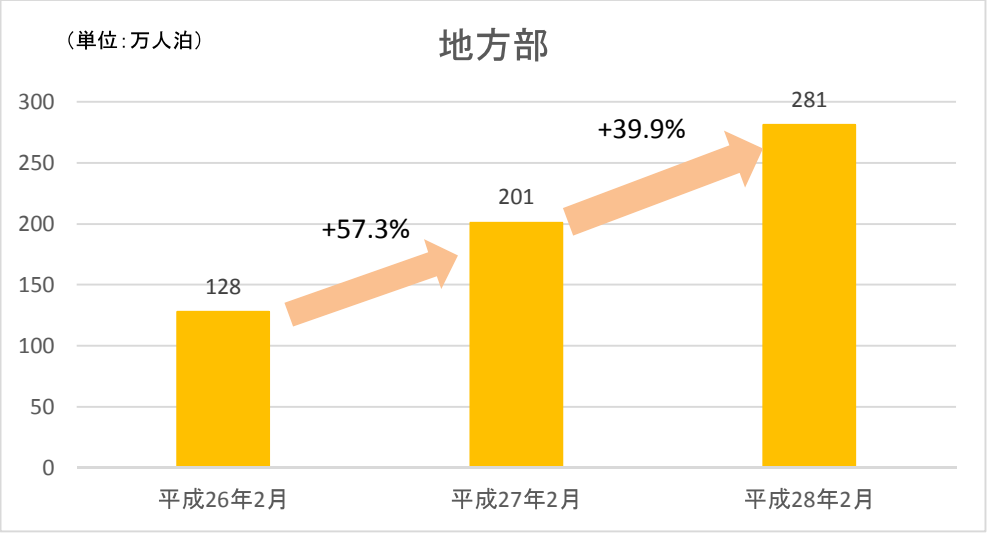
※前年同月比は、確定値との比較である。

②都道府県別外国人延べ宿泊者数（平成28年2月（第2次速報））



③三大都市圏及び地方部における外国人延べ宿泊者数比較

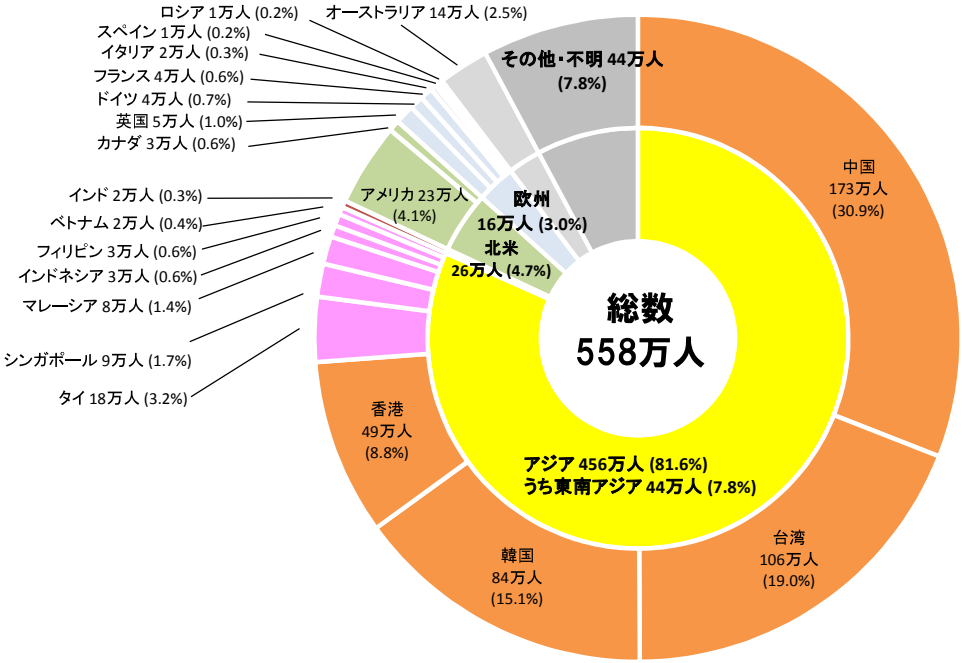




(2) 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数

○平成28年2月の国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数は、第1位が中国、第2位が台湾、第3位が韓国、第4位が香港、第5位がアメリカで、上位5ヵ国・地域で全体の78%を占める。
○伸び率でみると、韓国(前年同月比+44.1%)、インドネシア(同+41.9%)等が大幅に拡大した。

③国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数(平成28年2月(第2次速報))

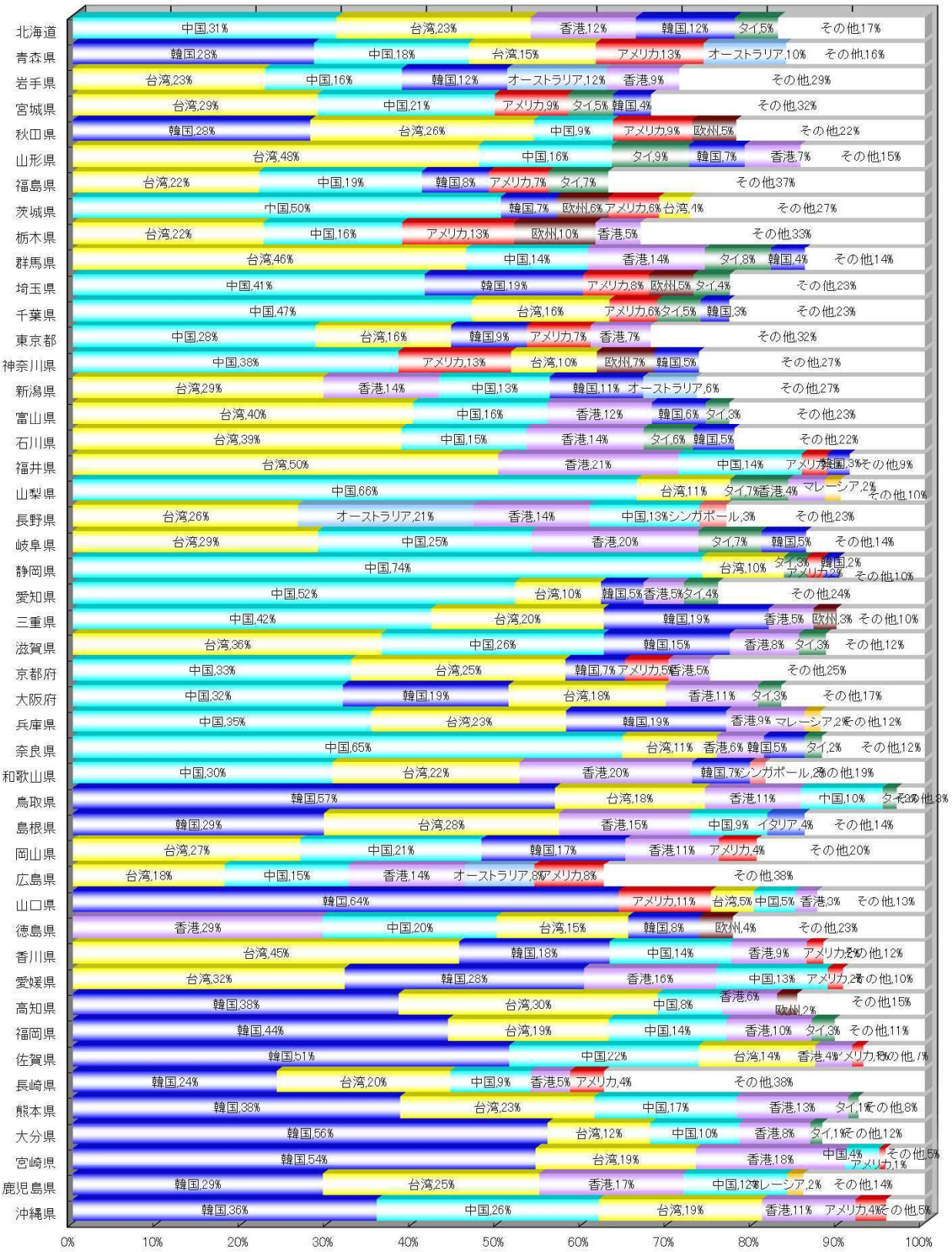


順位	国籍 (出身地)	合計		前年同月比
		~~(万人泊)~~ (人泊)	シェア	
第1位	中国	1,726,730	30.9%	+25.8%
第2位	台湾	1,058,110	19.0%	+17.4%
第3位	韓国	842,920	15.1%	+44.1%
第4位	香港	491,550	8.8%	+26.5%
第5位	アメリカ	231,400	4.1%	+12.7%
第6位	タイ	179,820	3.2%	+26.3%
第7位	オーストラリア	141,160	2.5%	+7.9%
第8位	シンガポール	92,100	1.7%	+19.9%
第9位	マレーシア	77,610	1.4%	+33.9%
第10位	英国	53,520	1.0%	+10.3%
第11位	ドイツ	38,060	0.7%	+14.9%
第12位	フランス	35,870	0.6%	+4.8%
第13位	インドネシア	32,540	0.6%	+41.9%
第14位	フィリピン	32,500	0.6%	+5.0%
第15位	カナダ	31,180	0.6%	+1.6%
第16位	ベトナム	21,220	0.4%	+29.5%
第17位	インド	19,210	0.3%	+18.6%
第18位	イタリア	15,620	0.3%	−
第19位	スペイン	11,300	0.2%	−
第20位	ロシア	10,560	0.2%	+19.5%
	その他	363,480	6.5%	+19.5%
合計		5,579,450	100.0%	+23.8%

※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成。
※ 国籍(出身地)別外国人延べ宿泊者数の調査において、以下のとおり調査対象国を追加している。
・平成25年第1四半期調査よりインドネシア
・平成25年第2四半期調査よりベトナム、フィリピン
・平成27年4月分調査よりイタリア、スペイン
※ 前年同月比は、確定値との比較である。

④国籍（出身地）別、都道府県別外国人延べ宿泊者数構成比（上位5都道府県）
（平成28年2月（第2次速報））

⑤都道府県別、国籍（出身地）別外国人延べ宿泊者数構成比（上位5国籍）
（平成28年2月（第2次速報））



※ 欧州はドイツ・英国・フランスの3カ国
※ 従業者数10人以上の施設に対する調査から作成

宿泊旅行統計調査の概要

1. 調査対象期間　　毎月（1ヶ月間）

2. 調査施設　　全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの

全宿泊施設　：　49,108施設

調査施設数　：

・平成28年2月（第2次速報）		18,467施設
	従業者数10名以上	11,002施設
	従業者数10名未満	7,465施設
・平成28年3月（第1次速報）		18,467施設
	従業者数10名以上	11,002施設
	従業者数10名未満	7,465施設

有効回収率：

・平成28年2月（第2次速報）		55.9%（全体）
	従業者数10名以上	65.0%
	従業者数10名未満	42.5%
・平成28年3月（第1次速報）		46.0%（全体）
	従業者数10名以上	53.2%
	従業者数10名未満	35.3%

宿泊旅行統計調査の活用における留意点

○当資料の数値は暫定値であるため、確定値において数値が変更します。

○平成22年第2四半期（4～6月調査）から、従業者数10人未満の施設も調査対象となり、その際に母集団数に差異が生じております。調査結果をご活用の際は以下の点にご留意下さい。

● 母集団施設数について

・平成21年（確定値）第1四半期：従業者数10人以上の施設（約1万施設）

・平成22年（確定値）第1四半期以降：従業者数10人以上の施設（約1．2万施設）

※従業者数10人以上の施設でも、平成21年確定値と平成22年確定値の母集団数には差があります。比較する際には、第1表をご確認頂く等、ご注意下さい。

調査対象拡充の概要

1．平成22年第1四半期以前の調査

（1）調査対象施設

平成16年度事業所・企業データベース（総務省）を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国の従業者数10人以上のホテル、旅館、簡易宿所の宿泊施設

（2）集計結果

全国の従業者数10人以上の宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

2．平成22年第2四半期以降の調査

（1）調査対象施設

統計法第27条に規定する事業所母集団データベース（総務省）を基に、国土交通省観光庁で補正を加えた名簿から抽出した、全国のホテル、旅館、簡易宿所、会社・団体の宿泊所などの宿泊施設

調査施設については、従業者数に応じて以下のとおり

- 従業者数10人以上の事業所　：　全数（悉皆）調査
- 従業者数5人～9人の事業所　：　1／3を無作為に抽出してサンプル調査
- 従業者数0人～4人の事業所　：　1／9を無作為に抽出してサンプル調査

（2）集計結果

全国のすべての宿泊施設における延べ宿泊者数等の推計値

●宿泊旅行統計調査の詳細データについて

＜宿泊旅行統計調査＞の詳細データについては、下記ホームページに掲載しています。

国土交通省観光庁ホームページ

http://www.mlit.go.jp/kankocho/

観光庁 ▶ 統計情報・白書 ▶ 統計情報 ▶ 宿泊旅行統計調査

（宿泊旅行統計ホームページ）

平成28年分の「旅行・観光消費動向調査」、「宿泊旅行統計調査」及び「訪日外国人消費動向調査」の公表予定日は以下のとおりです。

【平成28年】

調査名			対象期間	公表日程	
旅行・観光消費動向調査	速報		平成28年 1- 3月分	平成28年 5月 長官会見日	
	速報		〃 4- 6月分	〃 8月 長官会見日	
	速報		〃 7- 9月分	〃 11月 長官会見日	
	速報		〃 10-12月分	平成29年 2月 長官会見日	
	年次確報		平成27年分	平成28年 6月 長官会見日	
	年次確報		平成28年分	平成29年 6月末頃	
宿泊旅行統計調査	1次	2次	平成27年12月分	済	済
	1次	2次	平成28年 1月分	済	済
	1次	2次	〃 2月分	済	済
	1次	2次	〃 3月分	済	〃 5月31日
	1次	2次	〃 4月分	〃 5月31日	〃 6月30日
	1次	2次	〃 5月分	〃 6月30日	〃 7月29日
	1次	2次	〃 6月分	〃 7月29日	〃 8月31日
	1次	2次	〃 7月分	〃 8月31日	〃 9月30日
	1次	2次	〃 8月分	〃 9月30日	〃 10月31日
	1次	2次	〃 9月分	〃 10月31日	〃 11月30日
	1次	2次	〃 10月分	〃 11月30日	〃 12月27日
	1次	2次	〃 11月分	〃 12月27日	平成29年1月31日
	1次	2次	〃 12月分	平成29年1月31日	〃 2月28日
	年次速報		平成27年分	平成28年2月29日	
	年次確報		〃	〃 6月30日	
	年次速報		平成28年分	平成29年2月28日	
	年次確報		〃	〃 6月30日	
訪日外国人消費動向調査	速報		平成28年 1- 3月分	平成28年 4月 長官会見日	
	速報		〃 4- 6月分	〃 7月 長官会見日	
	速報		〃 7- 9月分	〃 10月 長官会見日	
	速報		〃 10-12月分	平成29年 1月 長官会見日	
	年次確報		平成27年分	平成28年 3月末頃	
	年次速報		平成28年分	平成29年 1月 長官会見日	
	年次確報		〃	平成29年 3月末頃	